

## 第4回 第3期下野市地域福祉計画及び活動計画策定委員会 議事録

審議会等名 令和3年度 第4回 第3期下野市地域福祉計画及び活動計画策定委員会  
日 時 令和3年11月19日（金） 午後1時30分から  
会 場 下野市役所 303・304会議室  
出席者 林委員、川俣委員、小室委員、軽部委員、山田委員、粥見委員、鱒淵委員、吉田委員、海老原委員、布袋田委員、石嶋委員、國元委員、山口委員、小倉委員、齋藤委員  
欠席者 梶井委員、大古委員  
事務局 下野市：福田健康福祉部長、仙頭社会福祉課長、大門課長補佐、植野主幹、齋藤主事  
社会福祉協議会：山中局長、角田次長、桑島副主幹、篠崎主査

公開・非公開の別 （  公開 ・  一部公開 ・  非公開 ）

傍聴者 0人

報道機関 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和3年11月26日

### 1. 開 会

（事務局） 第4回 第3期下野市地域福祉計画及び活動計画策定委員会を開会いたします。本日は委員17名に対して出席委員15名となっておりますので、下野市地域福祉計画及び活動計画策定委員会設置要綱第6条第2項の開催要件に基づき会議が成立することをご報告いたします。

### 2. あいさつ

（林委員長） 新型コロナウイルスの流行が落ち着きはじめ、地域の活動も感染状況に配慮しながら進んでいるところもあります。この先第6波という話もありますが、出来ればこのまま収束してくれるといいなと思っています。前回の11月の会議でも話していた通り、今回が計画に血肉をつける回となっております。送付された案をお読みいただき、みなさんにご検討いただければと思います。資料2の裏側を見ていただくと計画策定の経緯が記載されています。本会議が終わると、この案が私たちの手を離れパブリックコメントにかけられる流れとなっております。本日は、パブリックコメントに出る前の最後の段階になります。私も、じっくりと目を通してきましたが、会議の前に事務局が再確認し、追加の修正等をまとめた追加資料が用意されています。本日は少し時間が掛かるかもしれませんが、議事進行へのご協力をお願いいたします。なお、本日の議事録署名は布袋田委員、石嶋委員をお願いいたします。

### 3. 議 題

（1）計画の基本理念について

（事務局） 資料1に基づき説明

(林委員長) 基本理念について、各委員に事前に提出いただいたものも含めた案を①～⑩と一覧にまとめ、事前にお送りしました。その回答を集計した結果を発表いたします。ちなみに第1期は「思いやりの心で互いに支え合い、人にやさしいまち 下野」、第2期は「思いやりの心で互いに支え合い、いきいきと暮らせる 幸せ実感のまち 下野」です。今回①～⑩の案に対して①1名、②1名、③3名、④3名、⑤3名、⑥1名、⑦1名、⑧0名、⑨1名、⑩1名、⑪2名でした。上位の案3、4、5番が同票で1位でした。案3「思いやりの心で互いに支え合い、笑顔あふれる幸せ実感のまち 下野」、案4「思いやりの心を育み 支え合いの輪が広がる 共生のまち」、案5「思いやりの心を育み 支え合いの輪が広がる 共生のまち 下野」この中で1つだけ票が多ければ良かったのですが、同票なので、どれも甲乙つけがたいといった状況だと思います。何かご意見ございますか。この3点について再度投票(挙手)の形でよろしいでしょうか。では、みなさん考えていただいてご意見を伺いたいと思います。

—手上げ式で投票—

(3番が4名、4番が2名、5番が9名)

(林委員長) では5番「思いやりの心を育み 支え合いの輪が広がる 共生のまち 下野」を基本理念として決定します。素案にもこの言葉を入れて策定します。異議はないでしょうか。

—異議なし—

(2) 計画の素案について

(事務局) 資料2に基づき説明

(林委員長) 10月に出た骨子案から具体的に項目ごとに見える化を行い、施策のなかでの現状値と5年後が見やすくなり計画書らしくなったというのが第一印象です。ここから皆様のご意見やご質問を頂ければと思います。少し気になったのは、例えば自殺者数について現状値では5年間で38人だったものが、目標値は0人となっている点です。各団体の活動に照らし合わせてお気づきの点があればご指摘いただければと思います。ただ今回注意点として、ご自身の発言の前に追加の修正点についての資料にも目を通していただき既に変更されていた場合は、そちらについてのご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

(石嶋委員) 第2期計画では「私たちが取り組むこと」「社会福祉協議会が取り組むこと」と書いてありました、今回の素案は「私たちの取り組むこと」「社会福祉協議会の取り組むこと」となっています。「が」を「の」に変更された意味はあるのでしょうか。

(事務局) 作成の中でこういった表現になりましたが、委員様のご意見を反映して訂正させていただく形でよろしいでしょうか。

(林委員長) 私も石嶋委員と同じ思いです。「私たちの取り組むこと」の内容は、どちらに主体性があるのでしょうか。「しましよう」という言葉にすることで誰が主語になるのでしょうか。「私

たちが」だと市民が主語になります。その市民がすることが「します」になっています。

「私たちの取り組むこと」になると、例えば市民を代表する策定委員から呼びかけるような形になります。ご指摘の通りとって「私たちが」にしますというよりも、どこの立場になって考えるかです。

この計画は市民の計画ですので、呼び掛けられるものではなく「私たちがこうします」という方向性を書く方が良いのではないのでしょうか。できれば、みなさんから合意を取りたいです。「私たちの取り組むこと」ではなく「私たちが取り組むこと」にすれば主体が市民になると思います。いかがでしょうか。

(事務局) 作成にあたりまして「私たちの」にしたいということではありませんでしたので、ご意見の中で同意を得られるのであれば「私たちが」に変えていきたいと思えます。

(林委員長) 石嶋委員いかがでしょうか。

(石嶋委員) はい。

(林委員長) 恐らく「しましう」に語尾を直されたと思いますが、市民が何をやるかの宣言でよいと思うので「します」に調整頂ければと思います。他にはいかがでしょうか。

(鱒淵委員) 具体的な数字を挙げてくださっているため、数値はわかりやすくなっていますが、5年後の数値だけでは年度ごとのモニタリング、振り返りが難しくなるのではという印象をもちました。段階的に良くしていくのか、すぐに達成して維持をしていくのか、数字の出し方、流れが見えないと感じました。

(林委員長) 成果指標についてのご意見です。考え方についていかがでしょうか。

(事務局) ご質問の内容は、成果指標と取組指標の両方についてという認識で良いでしょうか。成果指標について5年後の数値を設定している理由はアンケート調査結果等からの設定となっているため、次期計画の策定時に進捗を把握することとしています。よって成果指標を途中で確認をすることは難しいと思えます。

一方、取組指標については、追加資料3の毎年度の評価を行うシート案に実績を書く欄があり、毎年度の達成状況が見えるようになっていきます。こちらを推進委員会において協議いただき、5年後の目標として数値が適当でないという意見が出た際は今後見直す必要があると思えます。

(林委員長) 追加資料にあるように毎年度評価を行い、推進委員会の中でも議論をしていくということでした。累計のみと5年後の数値のみが混在しているため、5年後なのか、いつなのかが見えづらいということかと思えます。例えば、46ページの取組指標でもつけ福祉塾の開催は現状が年1回のを年2回にしていくとありますが、開催が、年に1回なのか、5年間で1回なのかが分かりづらいため、コメント等で丁寧な説明があれば、もう少し見やすくなると思えます。

(石嶋委員) 52ページの分野を限定しない居場所数の現状値が0か所となっていますが、何年度に開始予定といったような説明があった方が良いのではないのでしょうか。

(林委員長) ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(吉田委員) 新規や拡充の事業について、もう少し分かりやすいレイアウトにしてもよいのではと思えます。

- (林委員長) ありがとうございます。地域共生社会を進めていくために、隔たりのない相談機関を構想されているものや、多様な主体が集まる居場所について、新規事業になっているかと思えます。目玉の事業が分かるようにした方が良いという意見だと思えます。他に、数値の妥当性についてはいかがでしょうか。
- (石嶋委員) 51ページの民生委員児童委員が受けた相談件数が増加になっていますが、市民自身が積極的に情報を入手できるようになれば必ずしも増加するとは限らないと思えます。増加することが必ずしも成果ということではないと思うので、無理に増やす必要はないと感じました。
- (林委員長) 恐らくこちらは毎年度の数字の増減を見ながらつくられていると思えますが、いかがでしょうか。
- (軽部委員) 民生委員です。これまで3地区に分かれて年に3～4回心配ごと相談を受けていました。これは1年間の総件数ですか。
- (事務局) こちらの現状値は直近の5年間の累計となっています。ただし、コロナ禍で相談に応じられない時期があったため、目標値が増えているように見えますが、コロナ禍以前の数値と見比べると極端に増えているわけではありません。
- (林委員長) 相談日の回数ではなく、民生委員の方が普段相談を受けられる数を加えているということです。コロナ禍で減っていた分がありますので、このままで行きましょう。58ページの成果指標の目標値が0%で完全にできているというのは5年後の数値としては高すぎる設定ではないでしょうか。他にはいかがでしょうか。
- (小室委員) 6ページ(3)のグラフについて、平成27年からになっていますが、令和2年の数値は出ていないのでしょうか。もう一点、11ページで、骨子案の16ページの避難行動要支援者登録者数のグラフが無くなりましたがどのような理由でしょうか。
- (事務局) 6ページの合計特殊出生率は、県の数値までは速報値が出ていますが、市町の数値は公開が例年年明けになり間に合わないため、確実な数値として令和元年までの数値を入れています。避難行動要支援者登録者数については、担当課に確認をしたところ対象者が途中で変わった関係で正確な数値が出せないことが判明したため、削除しました。
- (林委員長) 新しい概念での登録者数を別枠などで載せることはできますか。
- (事務局) 令和元年度頃にエクセルで管理していたものがシステムでの管理に切り替わりました。その時点で抽出する方を厳密にしており、大きな差がでてしまいます。
- (林委員長) 現状の把握は、しっかりされていますか。
- (事務局) 現状は正確に把握しているため次期計画には掲載可能です。
- (川俣副委員長) 6ページに市の出生率を掲載することは問題ないと考えますが、いかがでしょうか。
- (事務局) 合計特殊出生率は、一生のうち女性が何人出産されるかといった複雑な算出方法です。市で算出は難しく、県の報告を待つこととなります。
- (川俣副委員長) 本計画へ合計特殊出生率を載せる意味はあるのでしょうか。また、14ページの再犯防止の数値も法務省の資料である必要はないので最新のものを載せられませんか。
- (事務局) こちらも最新の数値を取りたいため確認をしましたが、この数値が公表されているのは法務省だけで、県ごとのものはありませんでした。改めて確認し、差し替えられれば差し

替えていきます。

- (林委員長) 1 2 ページに自治会加入世帯数があり、解説文に「未加入世帯数が一貫して増加傾向」という表現があります。「一貫して」という表現は初めからそう決まっているという意味合いになってしまうかと思うので、直した方が良いと思います。他いかがでしょうか。
- (山口委員) 4 7 ページの②障がいに対する理解の促進という言葉がよく使われますが、地域の人に理解を強いるようなニュアンスが、強いかと思います。もう少し、地域に寄り添った「学ぶ場の促進」や「考える場の推進」といったニュアンスが入ればと思います。
- (林委員長) 5 年後を見たときの言葉として、事務局で検討をお願いします。他いかがでしょうか。
- (鱒淵委員) 数値について、5 9 ページのスクールガードボランティア数が、5 年後に 3 名だけ増える、6 5 ページの養育支援家庭訪問事業は変化がないなど、それぞれ根拠のある数値なのでしょう。各数値の背景が分かると納得できると考えます。
- (林委員長) 恐らく予算や地域割りなどの理由があるかと思います。確認していただければと思います。根拠については、事務局から担当課へ問い合わせをお願いします。
- (石嶋委員) 私は今スクールガードボランティアをやっています。朝は、保護者の方も一緒に参加するため人数が多いですが、帰りの時間帯のボランティアは 4～5 人です。そのうち 2 人は 8 0 代で、体力的に途中で辞められる方も出ています。3 名増えるのは、少なく見えると思いますが、辞める人が増えて新しい人が少し入るということで私の経験的に現状維持が精一杯かと思います。
- (林委員長) 様々な背景があつての数値だと思いますので、確認をお願いします。他いかがでしょうか。
- (齋藤委員) 4 4 ページの重点事業一覧は、わかりやすいと思います。重点とそれ以外のメリハリについて、社会福祉協議会のものをみると重点項目は 6 つあり、2 つは目標値が定められていますが、残りの 4 つは他の事業と同レベルの印象を受けます。重点については、できれば指標を入れるか、文章を厚くしてほしいと思います。重点に絞り込んだ形で示していただきたいと思います。
- (林委員長) 社会福祉協議会の事業の多さの中で、優先順位を付けづらいと思いますが、重点や拡充が分かるようにしたらよいかと思います。
- (事務局) 計画策定にあたっては、有効な数値目標が取れるものであれば重点に関わらず数値を入れる方向で作成していました。頂いたご意見を踏まえ、重点で数値目標が入っていないものについては内部で検討したいと思います。
- (林委員長) ありがとうございます。他いかがでしょうか。パブリックコメント前に最終確認の資料が送られてきますか。パブリックコメント前に委員が再度目を通せますか。
- (事務局) 今後の修正等については、委員長と確認しながら行い、パブリックコメントにかける素案については事前に委員の皆さんへ送付させていただきます。
- (林委員長) 何かあればパブリックコメントまでにご意見を頂き修正したもので進めて行きたいと思います。内容について他いかがでしょうか。

(3) パブリックコメントについて

(事務局) 資料3に基づき説明

(林委員長) パブリックコメント前に、委員さんへ資料をお送りしてほしいとお願いしましたが、パブリックコメントで閲覧できるものと同じ資料をお送りいただければと思います。第5回の時に意見があればその際修正の検討を頂ければと思います。

(事務局) 委員さんがパブリックコメントで意見を出すことは、策定委員なので避けていただきたいです。パブリックコメントに出す素案をお送りいたしますので、次回の会議でご意見あれば伺い、修正すべき箇所については、修正いたします。

(林委員長) パブリックコメントについては12月6日に公表されます。別紙であがった修正点や本日の議論での修正案は私と事務局でつめさせていただきます。パブリックコメントで公表するものは、素案をお送りさせていただきます。パブリックコメントを受けての修正と、委員さんからの修正を行い次回の会議で決定をするという形になります。今月中でも意見があれば、事務局に連絡を入れていただきたいです。その後、私の方で判断をして反映をしていきたいと思っています。もう一度お伝えすると策定委員は、委員なのでパブリックコメントに意見を挙げないでいただきたいです。ご質問いかがでしょうか。

(吉田委員) パブリックコメントにおける公開内容について、例えば取組指標の根拠や理由についても公開されますか。

(林委員長) もし市民の方から数値の根拠について質問が出たら、パブリックコメントの回答として公開はしますが、根拠は載らないです。

(4) その他

(事務局) 追加資料2-1、2-2、3に基づき説明

(林委員長) 計画策定委員会の皆様には責任をもって推進委員会に入ってください、それぞれの立場で推進いただきたいという報告でした。ぜひご協力をお願いしたいと思います。

—質問・意見無し—

4. その他

(事務局) 次回、第5回策定委員会は2月3日(木曜日)午前10時から同じ会場です。内容はパブリックコメントの実施結果の報告と最終案についてです。よろしくお願いたします。

5. 閉会

(事務局) 以上で第4回第3期下野市地域福祉計画及び活動計画策定委員会を閉会いたします。

議事署名人 \_\_\_\_\_

議事署名人 \_\_\_\_\_